

『実践英語音声学』（JPEPSJ）投稿規程

1. 『実践英語音声学』（*The Journal of the Practical English Phonetic Society of Japan, JPEPSJ*）は日本実践英語音声学会の機関誌として原則年 1 回、年度末までに本学会のウェブサイト上で発行する。論文は日本語、または英語で書かれたものとする。本誌への投稿資格は、原則として本学会員に限るが、編集委員会の依頼による特別寄稿についてはこの限りではない。また、共著論文の場合は、執筆者全員が本学会の会員である必要がある。
2. 投稿内容は、未発表のものであることが求められ、また、他誌等に投稿中でないことが条件となる。ただし、すでに口頭で発表し、その旨を論文中に明記している場合は審査の対象とする。
3. 会員が投稿できるのは、共著の場合を含めて、ひとり 2 本までとする。投稿カテゴリーは以下の 4 つとする。
 - a. 研究論文
 - b. 実践論文
 - c. 研究ノート（a のカテゴリーに属さない小論文や萌芽的な研究、他者の論考に対する批判的考察など）
 - d. その他（総説、書評、学界動向、新刊紹介など）
4. 原稿の書式は、投稿用スタイルシート並びにフォーマットに従うものとする。原稿は A4 サイズで作成するものとし、ページ設定は、日本語は 1 行あたり 38 字で 43 行、英語は 1 行あたり 76 字で 43 行とする。本文のフォントは、英語・数字は Times New Roman、日本語は MS P 明朝で、ともに 10.5 ポイントとする。投稿論文の分量は、キーワード、要旨、図表等を含めて 30 ページ以内とする。投稿原稿には氏名を明記せず、タイトル（18 ポイント）、執筆言語での要旨（和文 300 字以内、英文 200 語以内）、本文（10.5 ポイント）のみを記述する。
5. 応募原稿は Word ファイルおよび PDF ファイルを電子メールで編集委員会に送付する（編集委員会メールアドレス PEPSJL[アット]gmail.com [アット]を@に変えること、大文字は小文字も可）。また、第一言語以外で執筆する場合には、入念なネイティブチェックを受けた上で入稿すること。最終提出原稿には本文が日本語の場合は英語の、本文が英語の場合は日本語の要旨を付加してもらうが、これも同様の扱いとする。
6. 『実践英語音声学』はオンライン誌である。よって、投稿内容の電子化による公開を、著者が本誌に投稿した時点で許諾したものとする。

7. 締切日は各年度の 10 月 31 日とする。(臨時増刊の場合には別に定める。)
8. 投稿された内容については, 2 名の匿名査読者によって査読を行う。
9. 掲載の可否は編集委員会が決定する。査読者の採否判断が異なる場合には, 編集委員長が採否を決定する。
10. 著者による校正は原則として初校のみとする。訂正は誤植に限るものとし, 内容の変更は認めない。
11. 論文掲載料は徴収しないが, 稿料も払わない。

付則 本投稿規程の改正は, 理事会の議決によるものとする。

2019 年 4 月 13 日 制定

2020 年 5 月 18 日 一部改正